

Ⅷ. 令和元年度 各会計決算の概要

令和元年度の決算については、28年度からスタートした「歌志内市総合計画」と「歌志内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を重点プロジェクトとし、集中的なまちづくりの推進に向け、教育環境のさらなる充実と、高齢者の生活支援を強化するとともに、身の丈にあった健全な財政運営を推進することを念頭に、限られた財源、財産を効果的に活用し、適切な事業の実施に努めました。

また、本市が抱える様々な課題への対応として、総合計画の前期基本計画、総合戦略は計画期間を終えることから、それぞれ見直し等を行い、総合戦略が目指す『オンリーワンの子育てと教育による人づくりを大切にするまち』の実現を確実なものにするため、「子育て支援・教育環境の充実」、「住民生活の安全確保」及び「住民福祉の充実」、「良好な住環境の整備」、「魅力ある産業づくりと地域振興」を基本としながら、総合計画との整合性を念頭に「効果や成果」を重視した施策の推進、限られた財源の中で最大限の効果を発揮させるため、「優先順位」や「スクラップアンドビルド」など、事業効果を適切に検証し、重点プロジェクトの着実な推進を主眼としてきました。

1. 決算規模及び収支の状況

一般会計以下5会計における歳入歳出決算の総額は、歳入46億7,224万2千円、歳出44億7,655万6千円で、1億9,568万6千円の黒字となりました。前年度と比較し、歳入で5億8,525万8千円、11.1%の減、歳出で5億9,747万円、11.8%の減となりました。

各会計別の収支は、一般会計で1億9,335万9千円、国民健康保険特別会計で229万6千円、後期高齢者医療特別会計で31千円の黒字となりました。

市営公共下水道特別会計及び市営神威岳観光特別会計は、一般会計繰入金により収支の均衡を図っています。

2. 歳入歳出の状況

(1) 一般会計

歳入増となった主な科目は、道支出金1,319万4千円（対前年度比9.4%）、寄附金1,303万円（同201.0%）で前年度を上回りました。

その内訳としては、道支出金は民生費補助金及び総務費委託金の増、寄附金は一般寄附金の増となっています。

一方、歳入減となった主な科目は、市債2億9,791万3千円（対前年度比△62.7%）、繰入金1億6,160万5千円（同△75.7%）、地方交付税1,808万7千円（同△0.7%）で前年度を下回りました。

その内訳としては、認定こども園建築費（平成29年度繰越分）に係る市債の減、繰上償還に伴う減債基金からの繰入額の減、施設改修事業経費などの減少による特別交付税の減となっています。

歳出（性質別分析）では、投資的経費が2億8,919万6千円（構成比7.3%）、義務的経費が20億573万1千円（同50.2%）、その他の経費が16億9,769万1千円（同42.5%）となっています。

前年度との比較では、投資的経費が2億7,149万円（対前年度比△48.4%）の減、義務的経費が1億2,824万6千円（同△6.0%）の減、その他の経費が9,096万2千円（同△5.1%）の減となりました。

投資的経費の減は、認定こども園建築費（平成29年度繰越分）の減によるもので、義務的経費の減は、市債の元利償還金の減によるものです。

(2) 特別会計

4会計合わせて歳入総額は4億8,626万5千円で、前年度と比較して1億787万8千円（対前年度比△18.2%）の減で、その主な要因は、市営公共下水道特別会計における、繰入金、市債の減及び市営神威岳観光特別会計における繰入金の減によるものです。

歳出は、投資的経費が3,843万7千円（対前年度比△9.4%）、義務的経費が2億1,307万2千円（同△13.0%）、その他の経費が2億3,242万9千円（同△23.4%）、総額4億8,393万8千円で、前年度と比較して1億677万2千円（同△18.1%）の減となっており、投資的経費が減額となった主な要因は、市営神威岳観光特別会計におけるスキー場改修事業及び保養施設改修事業による普通建設事業費の減、義務的経費の減の主な要因は、市営公共下水道特別会計における公債費の減、その他経費の減の主な要因は、国民健康保険特別会計における積立金の減によるものです。

3. 財政構造（普通会計ベース）

指数面では、財政の弾力性を測定する経常収支比率は96.3%（前年度96.0%）、財政力の強弱を示す財政力指数は0.110（同0.108）、公債費比率は6.6%（同8.7%）です。

また、地方債の元利償還金に加え、下水道等の公営企業が支払う元利償還金への一般会計繰出金などを含めて算出した実質公債費比率は13.9%（同13.7%）です。

4. 投資的事業（1件 1,000万円以上）

庁舎非常用発電機新設工事、観光施設活性化推進事業によるアリーナチロルの改修、小規模治山、改良住宅解体除却、ボイラー取替、市営住宅屋上防水・外壁塗装、コミュニティセンターエレベーター設備更新、公共下水道建設工事

5. 各会計補正予算

(単位：千円)

会計別	当初予算額	補正予算額	最終予算額	補正回数	伸び率%
一般会計	4,020,000	204,789	4,224,789	5 <small>うち 専決</small> 0	5.1
市営公共下水道特別会計	270,000	△4,822	265,178	1 <small>うち 専決</small> 0	△1.8
市営神威岳観光特別会計	8,000	406	8,406	1 <small>うち 専決</small> 0	5.1
国民健康保険特別会計	103,000	31,046	134,046	2 <small>うち 専決</small> 0	30.1
後期高齢者医療特別会計	86,000	△290	85,710	1 <small>うち 専決</small> 0	△0.3
合計	4,487,000	231,129	4,718,129	10 <small>うち 専決</small> 0	5.2

6. 各会計決算総括表

(単位：千円)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	4,185,977	3,992,618	193,359
市営公共下水道特別会計	263,242	263,242	0
市営神威岳観光特別会計	7,663	7,663	0
国民健康保険特別会計	134,142	131,846	2,296
後期高齢者医療特別会計	81,218	81,187	31
合計	4,672,242	4,476,556	195,686

7. 各会計予算と決算の状況

(単位：千円)

会計別	区分	予算現額 A	決算額 B	増減 B-A	執行率 B/A%
一般会計	歳入	4,224,789	4,185,977	△38,812	99.1
	歳出		3,992,618	△232,171	94.5
市営公共下水道特別会計	歳入	265,178	263,242	△1,936	99.3
	歳出		263,242	△1,936	99.3
市営神威岳観光特別会計	歳入	8,406	7,663	△743	91.2
	歳出		7,663	△743	91.2
国民健康保険特別会計	歳入	134,046	134,142	96	100.1
	歳出		131,846	△2,200	98.4
後期高齢者医療特別会計	歳入	85,710	81,218	△4,492	94.8
	歳出		81,187	△4,523	94.7
合計	歳入	4,718,129	4,672,242	△45,887	99.0
	歳出		4,476,556	△241,573	94.9